

受付番号		受付日	20 年 月 日	決定日	20 年 月 日	決定
------	--	-----	----------	-----	----------	----

一般社団法人日本プライマリ・ケア連合学会認定（試行事業）
試行事業病院総合医養成プログラム 年次報告書

2014年 7月 31日

一般社団法人日本プライマリ・ケア連合学会

理事長 殿

以下に記載した内容で、貴学会の試行事業における病院総合医養成プログラムとして認定を更新していただけますよう申請いたします。

プログラム責任者署名（自署） 関口由希公

1. プログラム名称			
医療生協さいたま・病院総合医養成プログラム			
2. プログラム責任者			
プログラム責任者氏名	関口由希公	学会会員番号	
所属・役職	埼玉協同病院 後期研修委員・さいわい診療所 所長		
所在地・連絡先	住所 〒333-0831 電話 048-296-4771 E-mail yukii@tea.ocn.ne.jp	FAX 048-296-7182	
連絡担当者氏名*・役職	市川大輔・教育研修室課長	*プログラム責任者と別に連絡 担当者がいる場合のみ記載	
連絡先	電話 048-296-5822 E-mail ishi@mcp-saitama.or.jp	FAX 048-296-8247	
3. 最近1年間のプログラムの概要			
・研修者の感想や、アピールポイントをお書きください			
<p>総合内科病棟で12~3人程度の患者を受け持ちます。その他に、訪問診療1単位、診療所1単位、ER1単位、急患外来1単位を行います。</p> <p>当院は消化器内科、呼吸器内科が別の病棟で、その他の内科疾患が総合内科の担当になります。そのため、心不全や感染症、脳血管疾患、血液疾患（とくに悪性リンパ腫やITP）を受け持つことが多いのが特徴です。また、高齢者の誤嚥性肺炎や認知症終末期患者の代替栄養を行うかどうかの検討では、悩むことが多く、4分割法を利用した他職種カンファレンスを行っています。</p> <p>外来、入院、診療所、訪問診療、ERとさまざまな場面で患者と接することができとても充実しています。経験できる症例も多く、幅広い疾患に対してある程度の臨床能力が身についた実感があります。</p> <p>また、初期研修医が最初の4か月間を過ごす教育病棟でもあり、研修医1年目、2年目と一緒に患者を受け持ち指導も行います。電子カルテの使い方や書き方、病歴聴取、身体診察の仕方、紹介状や主治医意見書の書き方などさまざまなことを指導します。また、研修医は診断のついていない頭痛、不明熱、貧血などの精査を行う患者を担当することが多いため、鑑別診断をすすめ検査、治療をともに行っていきます。2年目の研修医には癌の告知も行ってもらいます。</p> <p>研修医の指導は、1年目については、1か月目は週1回の振り返り、2か月目から月1回の振り返りを「振り返りシート」を利用して行っています。1年でのべ4人の研修指導を行いました。一人ひとりさまざまな研修医がいて指導のむずかしさを実感するとともに、2年目で2回目にローテーションしてきた研修医の成長した姿をみられるのが楽しみでもあります。3年目以降にも残って研修を続けてもらえるような魅力ある総合内科をつくっていきたいと思っています。</p>			

受付番号		受付日	20 年 月 日	決定日	20 年 月 日	決定	
------	--	-----	----------	-----	----------	----	--

4. 過去2年間の実績							
2013 年度	新規研修開始者数			1名			
	研修修了者数			名			
20 年度	新規研修開始者数			名			
	研修修了者数			名			
5. 現在のプログラム研修者該当者数(研修休止中の者を含む)							
1年目	1名	2年目	名	3年目	名	4年目	名
6. プログラムにおける指導医 主たる施設における指導医以外の、関連病院の指導医は氏名の下に施設名を記載							
氏名		卒業年	専門分野・資格		専門分野・資格		
例 山田 ○朗 ○○ひまわり病院		H12年	内科学会 総合内科専門医 消化器科専門医				
忍 哲也		H8年	内科学会 総合内科専門医 消化器病専門医、消化器内視鏡専門		プライマリ・ケア認定医・指導医		
小野 未来代		H2年	内科学会 総合内科専門医 消化器病専門医		消化器内視鏡専門医・指導医		
松本 定俊		S60年	内科学会 総合内科専門医 循環器専門医				
稲村 充則		S55年	リハビリテーション科指導責任者 脳卒中専門医		プライマリ・ケア認定医		
増田 剛		S62年	内科学会 総合内科専門医 消化器病専門医		プライマリ・ケア認定医 消化器内視鏡専門医		
関口 由希公 さいわい診療所		H12年	内科学会 総合内科専門医 糖尿病専門医		プライマリ・ケア認定医 プライマリ・ケア指導医		
7. 施設・診療科診療実績概要							
病床数	401	床(内総合診療部門定床		床)			
総合診療部門外来患者実績	初診	約 731	人/月	再診	約 1849	人/月	
総合診療部門入院患者実績	平均	約 67	人/月				

受付番号		受付日	20 年 月 日	決定日	20 年 月 日	決定	
------	--	-----	----------	-----	----------	----	--

8. 診療実績 研修医 1 人平均経験症例		
急性期一般病床入院	325	症例
集中治療室 (ICU)・HCU 入院症例	44	症例
外来継続診療症例	20	症例
看取り症例	22	症例
委員会活動実践事例	7	症例
教育実践事例	4	症例
研究実践事例	1	症例
9. 診療実績 研修者一人平均経験症例 領域別		
症例数不明の場合は、おおよその割合を記載してください		
研修領域	症例数もしくは割合	主な疾患名
心疾患系	26 症例	急性心不全、慢性心不全、心不全終末期、
	8%	除脈頻脈症候群、頻脈性心房細動など
呼吸器系	98 症例	細菌性肺炎、薬剤性肺炎、間質性肺炎
	30%	肺癌、COPD 増悪、気胸など
消化器系	17 症例	憩室炎、虚血性腸炎、肝硬変、消化管出血
	5%	炎症性腸疾患、急性膵炎、胆嚢炎など
代謝内分泌・血管系	15 症例	糖尿病、糖尿病性ケトアシドーシス
	5%	バセドウ病、橋本病、下垂体炎など
神経系	45 症例	脳梗塞、脳出血、脳膿瘍、水頭症
	14%	ギランバレー症候群、脳炎、髄膜炎
腎泌尿器科系	28 症例	腎盂腎炎、複雑性尿路感染症、膀胱癌
	9%	前立腺炎、前立腺肥大症
リウマチ性・筋骨格系	8 症例	リウマチ、脊椎圧迫骨折、偽痛風、痛風
	2%	SLE、PMR など
皮膚	9 症例	多形滲出性紅斑、蜂窩織炎、丹毒
	3%	
耳鼻咽喉科	25 症例	副鼻腔炎、末梢性めまい症、突発性難聴
	8%	
その他	54 症例	悪性リンパ腫、ITP、血友病
	17%	

受付番号		受付日	20 年 月 日	決定日	20 年 月 日	決定	
------	--	-----	----------	-----	----------	----	--

<p>10. 研修者の評価方法（研修修了認定の方法も含めて、具体的に）</p> <p>5月に今年度の目標を総括的評価法を用いて行います。一般目標、行動目標を記載して具体的にこの1年で達成すべきことを記載し、管理医師と面接を行います。次年度の5月に昨年度の目標が達成されたかどうか管理医師と面接行います。</p>
<p>11. プログラムの質の向上・維持の方法</p> <p>毎月1回さいたま総合診療医医・家庭医センターの会議を行い振り返りを行っています。</p>
<p>その他、お気づきの点やご意見等ありましたら下記にお書きください</p> <p>病院総合医の役割は、幅広い疾患に対応できる能力だけではなく、複数の疾患を抱えた高齢者の診療や、社会的背景が複雑な患者の対応、臨床倫理、教育なども必要とされる能力と感じます。それらを学べる場や評価する方法なども必要かと思えます。</p>